

げんき

No.54

兵庫県立こども病院
ニュースレター



カエル



平成 28 年(2016) 8 月 1 日

新病院で迎える初めての夏

病院長 長嶋 達也



新しいこども病院で初めての夏を迎えます。4月24日の開院式では、井戸知事から新病院への期待を込めて「親らの願い 子らのすくすく 育つこと これを支える 拠点成れり」の詞を贈っていただきました。5月1日には、47名の重症患児を新しい病院に移送するという困難な仕事も無事に終えました。そして、新しい病院、新しい電子カルテ、新しい運用、大勢の新人看護師という、新しいことすくすくの病院を立ち上げるという困難と闘う毎日が続いています。イタリアの古いことわざに「静かにいくものは健やかにいく、健やかにいくものは遠くに行く」といいます。安全を最優先にして、新しい病院を静かに、着実に立ち上げて遠くまで歩みたいと思います。

1970年の開設時からの高度で先端的な医療を

追及するという、こども病院の使命はこれからも変わることはありません。しかし、高度な医療を支える広い裾野を持たないと脆弱な医療となってまいります。こども病院の医療は複数の専門家の力を合わせて進める集学的医療がその特徴ですが、専門家の集まりだけではとらえきれないほど複雑な、どの専門にも分類できない問題というものが生まれてまいりました。救急一総合診療の分野を発展させながらこども病院の裾野を広げ足腰を強くしていきたいと考えています。こどもの数が減り続ける時代を迎えて、こども病院に対する時代の要請は刻々変化してまいります。それぞれの時代がこども病院に求めることに的確に対応していかなければなりません。

この「げんきカエル」がお手元に届くころは、こども病院は未知の「夏休み繁忙期」を経験していることでしょう。皆様のご期待を担って、職員一同、力を合わせて安全で信頼できる医療、こども達やご家族に優しい医療に取り組んでまいります。温かいご支援をお願い申し上げます。





5E病棟(在宅支援病棟)を紹介します。 病棟部長 深江 登志子



5E病棟(在宅支援病棟)は、新病院への移転に当たり、新たに開設された病棟です。

5階の病棟は「海」をイメージしたブルーを基調としたカラーで統一をされており、穏やかな雰囲気のある病棟で、病床数は17床、病棟スタッフは、看護師31名、保育士1名、看護補助者、病棟クラークで構成されています。

病棟の役割としてはその名の通り、退院が決定し、在宅において高い医療ケアが必要と



される患者様を対象に、個々に合わせた退院支援や調整、退院後の在宅支援を行う病棟です。特徴としては、24時間家族と共に過ごし、退院後の生活の疑似体験ができる在宅支援訓練室を有しています。また、総合診療科の医師を中心に、週1回の在宅カンファレンスを開催し、栄養管理部、リハビリ科、家族支援・地域医療連携部など、多職種で連携をしながら、チームとしての支援を行っています。



“おうちに帰ろう”を合言葉に地域との連携も強化し、患者様やそのご家族が安心・安全な在宅療養生活を送れるように取り組みたいと考えています。どうぞよろしくをお願いします。



小児集中治療科の紹介

小児集中治療科長 黒澤 寛史



ポートアイランドへの移転に伴い、こども病院に小児集中治療科が設立されました。内科系、外科系を問わず、呼吸や循環、中枢神経や代謝などが重篤な急性機能不全に陥った患者に、強力かつ集中的に治療・看護を行うことが集中治療です。

当科が管理するのは、先天性心疾患や心筋炎など主に心臓の病を持つ患者を管理する「心臓 ICU (CICU)」8床、病院内外の多種多様な重症小児を診る「小児 ICU (PICU)」4床、外科疾患の周術期集中管理を行う「外

科 ICU (SICU)」4床、これら全 ICU のバックベッドとしての「一般 ICU」11床の合計 27 床になります。24 時間 365 日、小児集中治療専属医が常駐し、すべての診療科と協力しながら診療を行っています。5月の開院以来、福岡や広島、高知からの長距離搬送症例を含め 65 例以上/月の入室数があり、全国でも有数の小児集中治療科として発達したところです。院外への迎え搬送も行っており、他医療機関からの紹介も積極的に受け入れています。





院内学級の開設について

友生支援学校長 竹内 寛子
教頭 三瀬 博道

はじめまして。広報誌「げんきカエル」に、院内学級を紹介させていただき、ありがとうございます。

院内学級は、病院移転を機に、神戸市立友生支援学校の分教室として開設されました。これまで、本校教員が、訪問教育(わらび学級)として、週2~3回、ベッドサイドでマンツーマンの授業を行ってきましたが、新しい病院では、5階の学習室で、毎日授業を行うことができるようになりました。また、職員控室が病院内(5階)に設置され、これまでと同様にベッドサイドで学ぶ子供たちにも、授業等に関われる日が多くなりました。

本校の目指す学校像の1つに、「今を大切にする学校」があります。病気と闘いながら、一生懸命学んでいる子供たちの今を大切に、子供たちにとって、安心して楽しく学べる院内学級(分教室)をつくっていきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



Concept コンセプト

- **基本理念** 周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になってこどもたちの健やかな成長を目指します。
- **基本方針**
 1. 患者の権利を尊重した医療の実践
 2. 安全・安心と信頼の医療の遂行
 3. 高度に専門化されたチーム医療の推進
 4. 地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
 5. 親とこどもが一体となった治療の推進
 6. こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
 7. 医療ボランティアとの協働による患者サービスの向上
 8. 継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化



編集後記

記念すべき移転後第1回目のげんきカエルです。頭戴からポートアイランドへのお引越しが終わったのもつかの間、あっという間に夏がやってきました。

水分補給をこまめに行い、体調管理に気をつけて下さいね。げんきカエルでは、新しくなったこども病院についてたくさん情報を発信していく予定です。お楽しみに！

編集委員長：橋本ひとみ

編集委員：大津啓秀 大西美樹
井口秀子 山本正子
沼田素作 由良沙矢理
石田佳人 福本宏文
中村真子

本誌に関するご感想・ご要望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院
HYOGO PREFECTURAL
KOBE
CHILDREN'S
HOSPITAL

〒650-0047
神戸市中央区港島南町1丁目6-7
TEL. 078-945-7300
FAX. 078-302-1023
<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>